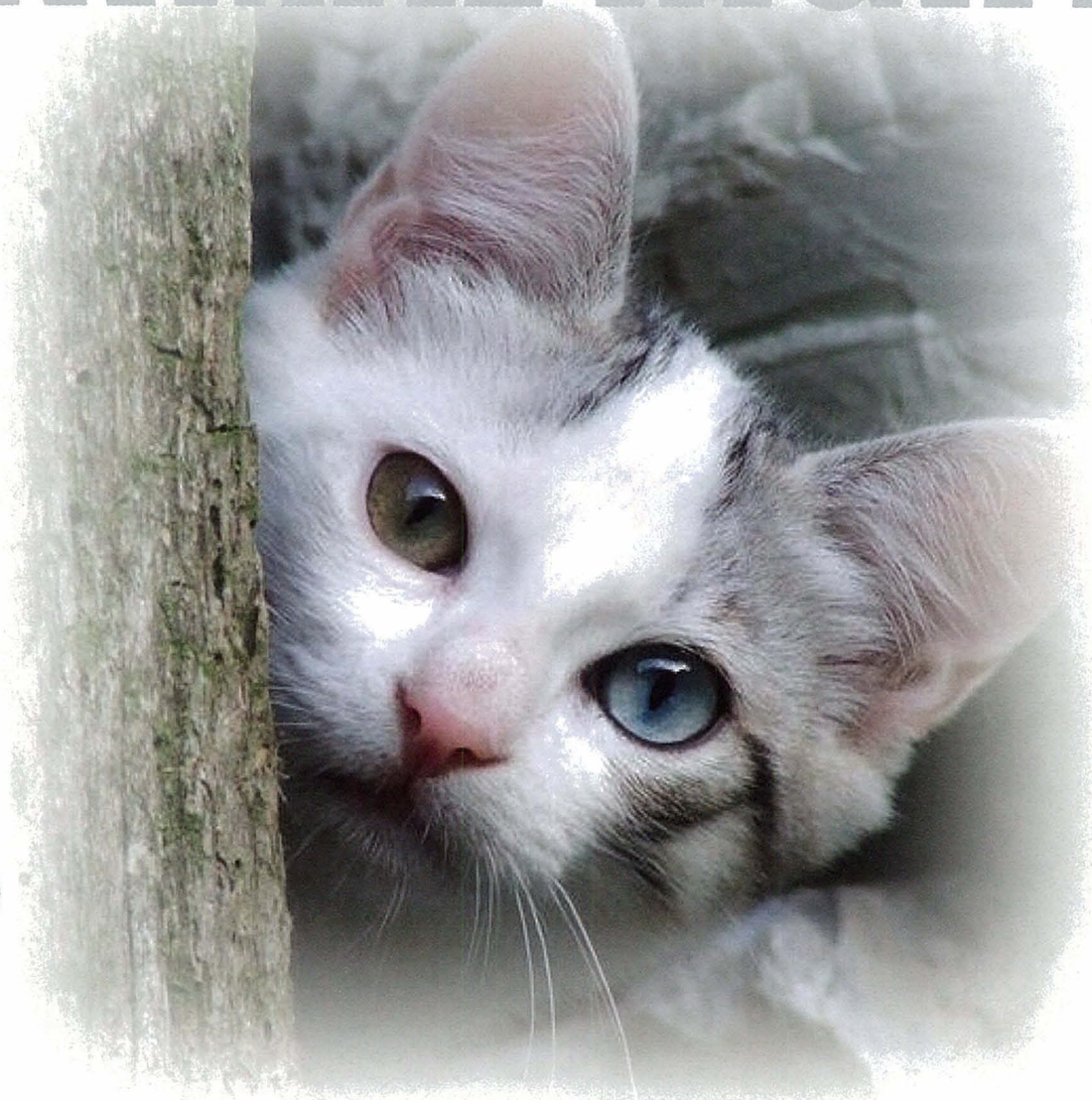


ANIMAL RIGHTS

LIBERATION

ANIMAL



「ひげとじっぽ」の現状 なかのまきこ

進歩した人間社会。豊かな生活。
けれども、動物達を取り巻く窮状は変わっていません。

20数年前に、この仙台で動物解放運動に関わった先駆者の一人であり、
20年前に「実験動物の解放」（カタツムリ社）という本を出し
日本で初めて動物実験を行わず獣医資格を習得した獣医でもある
「なかのまきこ」氏を迎えて講演会を開きます。

恵まれた現代だからこそ私達の身近な存在である動物達のことを
一緒に考えてみませんか？

【なかのまきこ】

中野真樹子。1968年仙台に生まれ育つ。

1988年より動物と人の共生を考える自由非組織「ひげとじっぽ企画」を主宰。

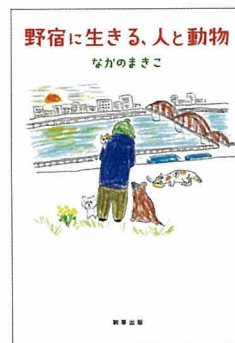
動物実験や野生動物、犬猫の問題に取り組む。

麻布大学獣医学部獣医学科を2000年に卒業、その後獣医師となる。

「ALIVE（地球生物会議）」調査員、

「IFAW（国際動物福祉基金）」日本事務所スタッフなどを経て、

現在は往診専門の「ひげとじっぽ移動どうぶつ病院」をアパートの一室で営む



「野宿に生きる、人と動物」

駒草出版より発売中

2/19(土)

時間：午後2時～（もしかしてゲスト有り?）

場所：仙台市市民サポートセンター4F 研修室5

主催：BANISH ARMS（お問合せ）banisharms@gmail.com 又は090-2276-8925（浅野）まで